

- ❖ JAUNSは日本国際連合学会の英文名称、Japan Association for United Nations Studiesの略です。
- ❖ このニュースレターには学会の活動や会員の皆様へのお知らせを記載いたします。
- ❖ 学会へのご意見、ご質問などは事務局までお寄せください。

1. 理事長挨拶 ～「あらたまる」ことと「あらためる」こと～

1998年10月22日、国連大学2階のレセプションルームで午後1時半から始まったのは、日本国際連合学会(JAUNS)を設立するための総会でした。訪日中のアナン国連事務総長(当時)が祝辞をくださり、“You are our partner.”と語られたとの私的メモが手元に残っています。

その日から15年の歳月が流れ、設立総会の議事次第に付記された最初の学会員数156名は約2倍に増えました。理事長も3代にわたり、設立への道を用意してくださった明石康氏、渡邊昭夫氏、横田洋三氏という国内外に名だたる方々がおつとめくださったことは、会員のみなさんがよくご存じです。この間、研究大会の開催、学会誌『国連研究』の刊行、海外の研究機関との交流などを中心として、学会規約に掲げられた「国連システムの研究とその成果の公表および普及」の活動が続けられてきました。そして、広領域の研究者と国際機関や外交の実務家がともに集う学会として、その社会的役割を果たし続けています。

そうした15年間の歴史のうえに、昨年(2013年)10月、3年任期で学会を運営する体制があらたまりました。新体制の理事会については2013年第1号のニュースレターですでお知らせし、各種委員会体制は今号でご報告するとおりです。

体制が新しくなりましたので、これまでの知的財産を引き継ぎつつ、学会活動のさらなる活発化を目指して、それぞれの部署で努力が始まっています。学会組織としては、理事会、運営委員会、これまでの渉外、企画、編集の委員会に加えて、広報委員会を新設しました。渉外委員会は海外の研究機関や研究者と本学会との交流を担い、会員相互の研究交流はニュースレター配信を含めて広報委員会が支えます。企画委員会は、国連創設70周年や日本の国連加盟60周年も視野に入れて、研究大会の企画と運営に知恵を絞っています。『国連研究』を学会員の知的交流の場とする仕事に取り組んでいるのは編集委員会です。事務局は学会運営の全体を見守って活発に動いています。会員メーリングリストも改訂し、みなさんへの情報提供を始めました。

3代にわたるすばらしき理事長たちのもとで歴史を重ねてきた学会を、今期の体制は、会員のみなさんと一緒に考え協力することを旨として引き継いでゆきます。国連の知的partnerとしての本学会の発展と会員お一人おひとりの研究活動の促進が両立するように、あらたまった体制のもとで、必要な点をあらためながら、会員のみなさんと理事、委員たちとで協働してまいりましょう。学会誌への投稿や研究大会での報告など、会員のみなさんも積極的に学会活動にかかわってくださることを祈りながら、新体制出発の報告といたします。

大泉敬子

2. 第6期 第1回 理事会報告

2013年10月1日に開催された第6期第1回理事会において、大泉敬子理事長、渡部茂己事務局長、大平剛編集主任、長谷川祐弘渉外主任が選出されました。企画主任については、後日理事長が指名することを承認しました。また、広報委員会の設置が提案され、追って指名される運営委員会で検討することになりました。

3. 2013年度 第1回および第2回 運営委員会報告

2013年 10月に次の12名を委員とする運営委員会体制が整いました（敬称略）。

大泉敬子（理事長）、渡部茂己（事務局長）、長谷川祐弘（渉外主任）、山田哲也（企画主任）、大平剛（編集主任）、秋月弘子（広報主任）、内田孟男、勝間靖、関口昇、廣瀬訓、弓削昭子、横田洋三。

2013年度第1回運営委員会が2013年12月10日に、第2回運営委員会が2014年2月23日に開催され、各委員会の構成および活動内容、2014年度研究大会の内容、2014年東アジア国連セミナーの日本開催、機関誌『国連研究』の転載許諾方針、会員移動などについて検討が行われました。

4. 各委員会の構成（敬称略）。

渉外委員会：長谷川祐弘（主任）、小山田英治、上杉勇司、石塚勝美

企画委員会：山田哲也（主任）、星野俊也、二村まどか、清水奈名子

編集委員会：大平剛（主任）、坂根徹、滝澤美佐子、本多美樹、山本慎一

広報委員会：秋月弘子（主任）、望月康恵、二宮正人

事務局： 渡部茂己（事務局長）、真嶋麻子

5. 2013年度東アジア国連セミナー（East Asian Seminar on the United Nations）開催

2013年11月15日(金)～16日(土)に、「安全保障に対する新たな地球的課題と国連における東アジアのリーダーシップ(New Global Challenges to Security and East Asian Leadership in the United Nations)」をテーマとして、第13回東アジア国連セミナーが開催されました。毎年、日本、韓国、中国の各国連学会が持ち回りで開催しているものですが、2013年度は、韓国国連学会（KACUNS）と済州平和研究所（JPI）が共催して、韓国昌寧において開催されました。参加者は、韓国から19名、日本と中国から各10名でした。

15日の第1～第3セッションおよび16日の第4～第5セッションの5つのセッションは、すべて全体会合として、それぞれ3カ国からの報告者と討論者の計6名が発言した後、全体での活発な討議が行われました（第5セッションのみ、討論者を置かずに、各報告の後すぐに全体討議となった）。

今回のテーマである“Security”は、従来議論されてきた国家安全保障を中心とする伝統的「安全保障」とは異なり、地球規模で脅威となっている気候変動やサイバーテロなどに対処するいわゆる非伝統的安全保障を中心とするものです。各セッションのそれぞれのテーマは、①「不拡散と核セキュリティ」、②「人権と人間の安全保障」、③「気候変動と環境安全保障」、④「サイバーテロとサイバー安全保障」、⑤「国連の諸任務と東アジアのリーダーシップ」でした。なお、『国連研究』第15号に、当該国連セミナーの紹介記事を掲載する予定ですので、詳しくはそちらをご覧ください。

6. 機関誌『国連研究』第15号のお知らせ

第15号（「グローバル・コモンズと国連」）は6月刊行を予定しており、学会大会までに皆さまのお手元に届くように鋭意、作業を進めております。どうぞ楽しみにお待ち下さい。

7. 2014年度研究大会のお知らせ

2014年度研究大会を、6月28日（土） - 29日（日）に北九州市立大学において開催いたします。詳細が決まり次第、学会ホームページおよび郵送にてお知らせいたします。

○企画主任からの連絡：2014年度研究大会、若手報告者の募集について

2014年6月28日 - 29日に開催する2014年度研究大会において、「若手独立報告」セッションを設けます。報告を希望される方は、下記に従ってご応募ください。報告テーマは限定せず、国連研究の新たな可能性を示す、挑戦的萌芽的な報告を期待しています。なお、研究大会期間中のどの時間帯にセッションを設けるかは未定です。

1. 応募資格：大学院博士後期課程在籍者からおおむね大学・研究機関に就職して2、3年程度の方まで

2. 募集人数：最大2名（なお、ご報告テーマや職歴等に応じて、通常のセッションでの報告をお願いする場合があります）

3. 応募要領

日本国際連合学会企画委員会 (jauns.kikaku6☆gmail.com) 宛に、次の内容を明記したメールをお送りください。（☆は@に代えてメールしてください）

①氏名、所属・肩書き（博士後期課程在籍者は学年）、性別、年齢

②連絡先（もっとも連絡のつきやすいEメールアドレスや携帯電話番号など）

③ご報告のタイトル

④ご報告要旨（800字～1200字程度。形式は問いません。なお、公刊済みの紀要論文等に基づいたご報告の場合は、その旨、お書き添え下さい。必要に応じて紀要論文をご提出いただく場合があります）。

⑤その他、職歴等、ご報告に関連した参考情報があれば、適宜、書き添えて下さい。

4. 締切り：2014年2月28日（延長する場合は、ホームページでお知らせします）

希望者に人数・テーマの重複等を勘案した上で、採否を決定します。採否決定にあたり、ご報告テーマについて、補足説明等をお願いしたり、ご報告内容の修正をお願いしたりする場合がありますのでご了承ください。

8. 2013年度および2014年度国連システム学術評議会 (ACUNS) 研究大会について

2013年6月17-19日に、スウェーデンのルンド大学で国連システム学術評議会 (The Academic Council on the United Nations System、以下ACUNS) の第26回年次研究大会が開催されました。「グローバル・ガバナンスにおけるリーダーシップ」(Leadership in Global Governance) と題されたテーマの下に、変遷していく地球社会において、台頭するグローバルな課題に、国際社会の指導者たちがどのような役割を果たしてきているか論議されました。

2014年6月19-21日にイスタンブールで開催されるACUNSの研究大会では、「グローバル・ガバナンス: 新たな規範と台頭する課題に携わっていくには」と題するテーマで協議されることになりました。このACUNSの研究大会に先立ち、3日間にわたり「人権と変革」に関して、トルコで国際会議が開かれます。

9. 「ポスト 2015 開発アジェンダ」に関するマローン国連大学学長およびエミリア・ピレス東ティモール財務大臣（ポスト 2015 開発アジェンダ・ハイレベル・パネル・メンバー）による対談（国連大学主催、日本国際連合学会および国際開発学会後援）のお知らせ

3月14日（金）18:30から国連大学で開催されます。関心のある会員の方々へご参加ください。本学会が後援いたしますので、日本国際連合学会員であることを名乗って専門のお立場からのご発言をいただければ幸いです。「ポスト 2015 開発アジェンダに関するハイレベル・パネル」メンバー一覧は、国連大学ウェブサイト [http://www.unic.or.jp/activities/ban_ki-moon/post2015/] で確認できます。

10. 入会と退会の承認および仮承認

2013年10月1日の理事会において、千知岩正継氏の入会、および、宮崎孝氏、猪口孝氏の退会が承認されました。これにより、現在の会員数は295名になりました。

11. メーリングアドレスの整理

新たにメーリングリストの作成を行いました。メールアドレスを登録されていない方、または、変更された方は、下記の事務局までメールでご連絡ください。

12. 会費納入のお願い

2013年度またはそれ以前の会費が未納の方には、ニュースレターとともに会費請求書が同封されています。2013年度までの会費をご納入下さいますようお願い申し上げます。本学会は会費収入を主な財源として運営されておりますため、皆様のご協力が不可欠です。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。万一、行き違いの際はご容赦下さい。

なお、会費を2年以上お納め頂いていない場合には、理事会で協議した後に、会員としての資格を失うこととなりますのでご注意ください（日本国際連合学会規約第7項）。会費納入状況については、下記の事務局までメールでお問い合わせください。

*** 連絡先にご変更のある方は、事務局までお知らせ下さい。***

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 常磐大学

国際学部 渡部茂己研究室内 日本国際連合学会

事務局長 渡部 茂己

Fax : 029-232-2755

E-mail : jauns2013☆gmail.com （☆は@に代えてメールしてください）